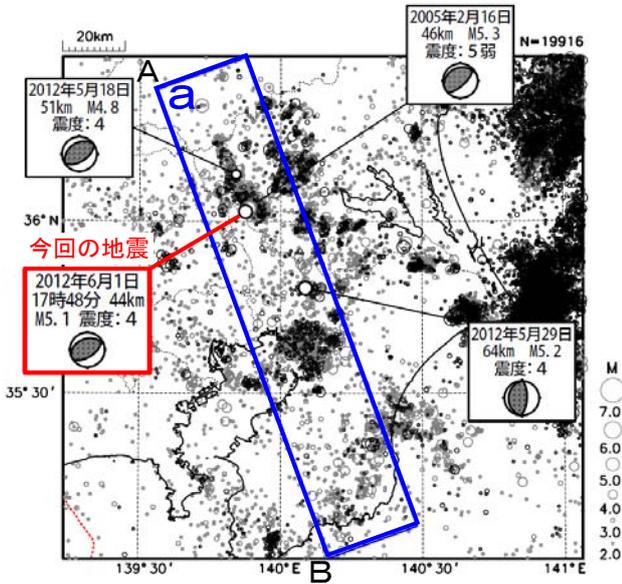


6月1日 千葉県北西部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔茨城県南部〕である。

震央分布図（1997年10月1日～2012年6月5日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

2011年3月以降の地震を濃く表示

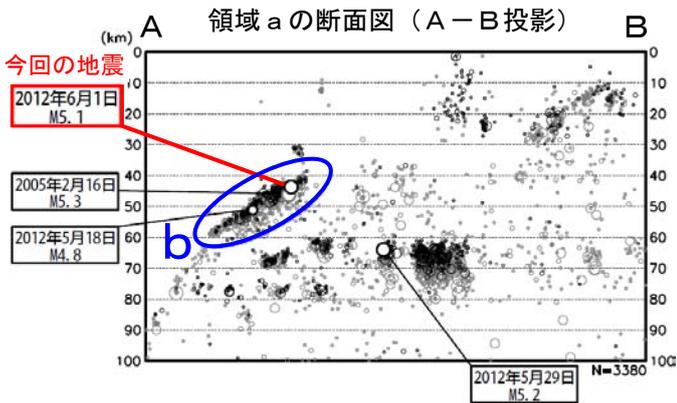
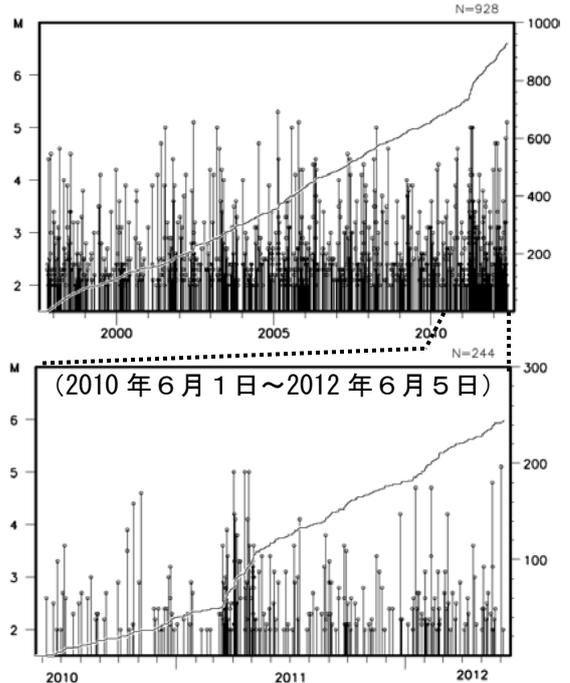


2012年6月1日17時48分に千葉県北西部の深さ44kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

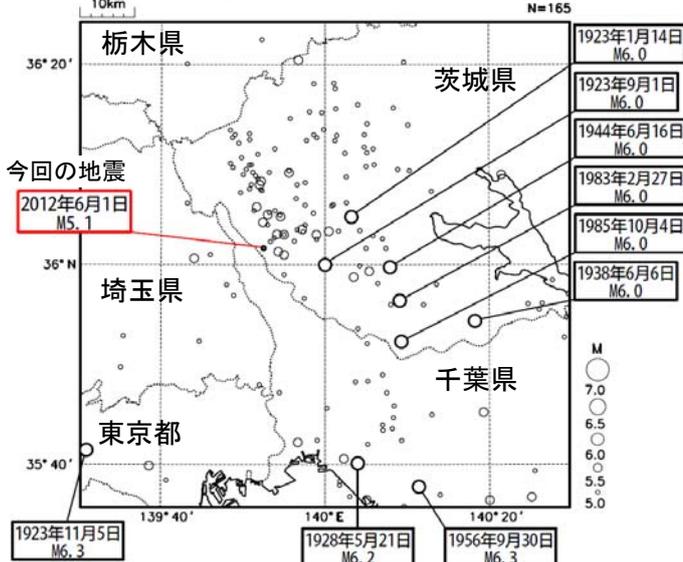
今回の地震の震源付近（領域b）は、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている領域である。

今回の地震の震源付近（領域b）の1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源近傍で2005年2月16日にM5.3の地震（最大震度5弱）が発生している。また、今回の地震の14日前には、同じクラス内でM4.8の地震（最大震度4）が発生している。

領域b内のM-T図および回数積算図

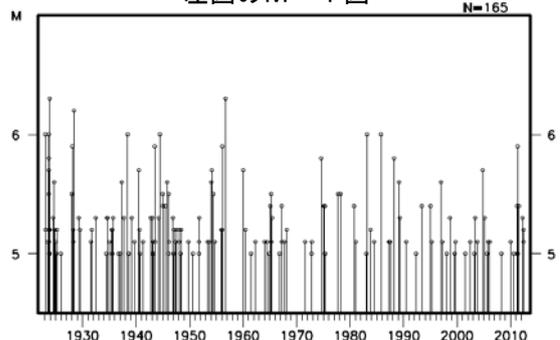


震央分布図（1923年1月1日～2012年6月5日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（左図）は、M5.0以上の地震が定常的に発生している地域である。

左図のM-T図

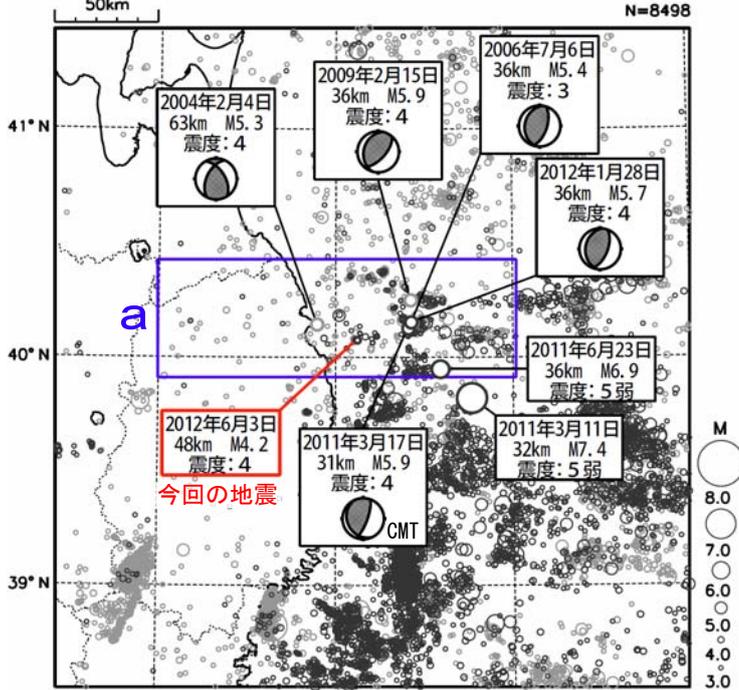


6月3日 岩手県沖の地震

震央分布図*

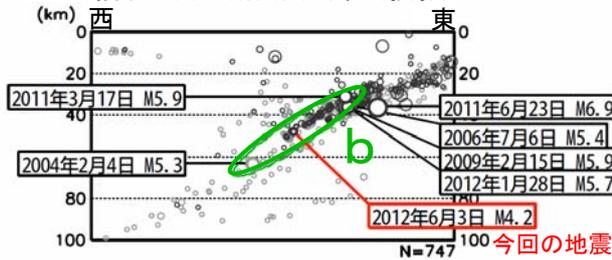
(1997年10月1日~2012年6月6日、深さ0~100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を濃く表示

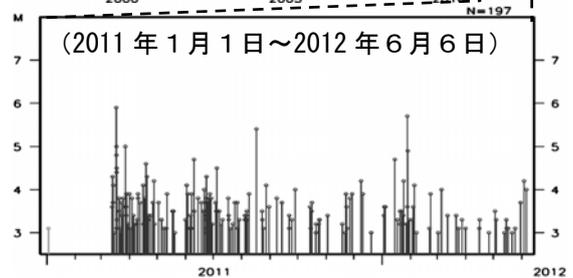
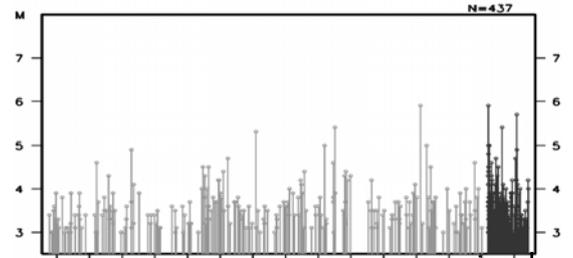


* 2011年3月13日~5月30日に未処理のデータがある。

領域 a 内の断面図 (東西投影)

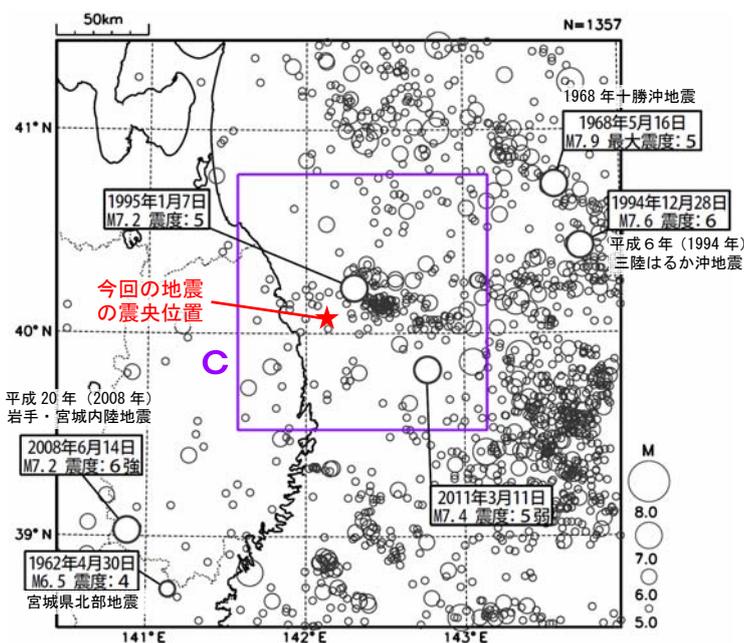


領域 b 内の M-T 図



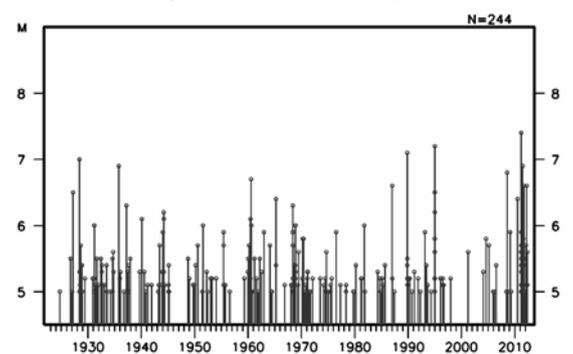
震央分布図

(1923年1月1日~2012年6月6日、深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)



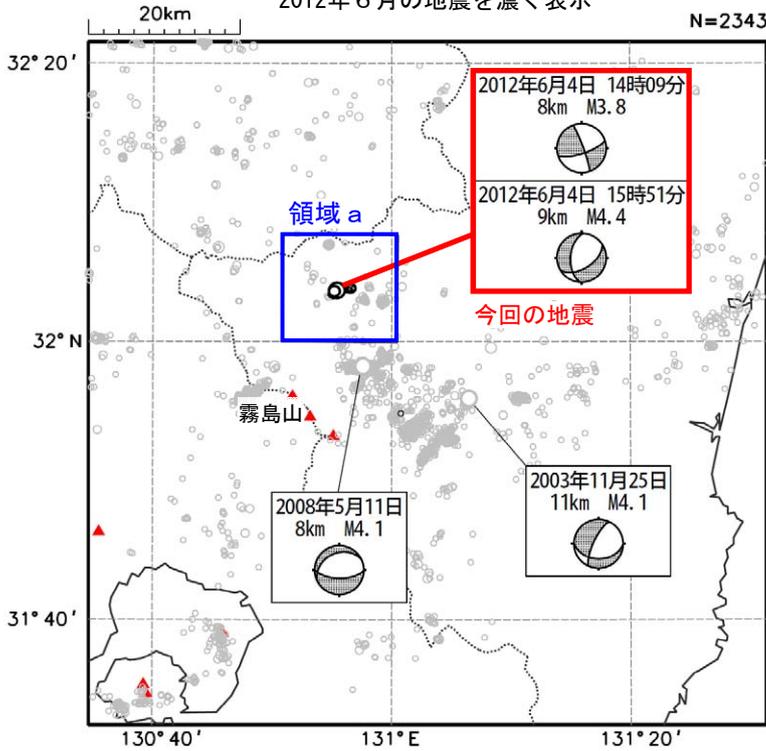
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では度々M7クラスの地震が発生している。

領域 c 内の M-T 図



6月4日 宮崎県南部山沿いの地震

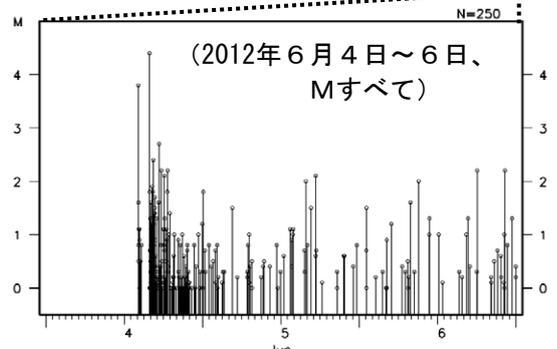
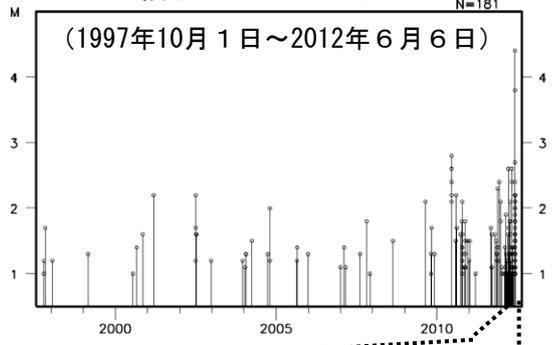
震央分布図 (1997年10月1日~2012年6月6日、
M \geq 1.0、深さ0~20km)
2012年6月の地震を濃く表示



2012年6月4日15時51分に宮崎県南部山沿いの深さ9kmでM4.4(最大震度4)の地震が発生した。また、この地震の約2時間前の14時09分には、ほぼ同じ場所でM3.8の地震(最大震度3)が発生していた。これらの地震は地殻内で発生した地震で、発震機構はいずれも西北西-東南東方向に張力軸を持つ型であった。7日24時現在、最大震度1を観測した余震を4回観測している(速報値)。

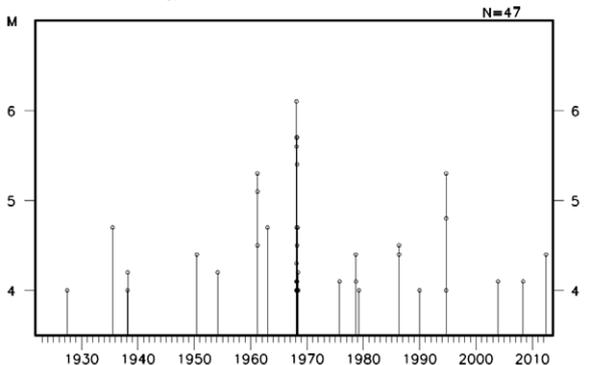
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M3.0以上の地震は発生していなかった。

領域 a 内の M-T 図

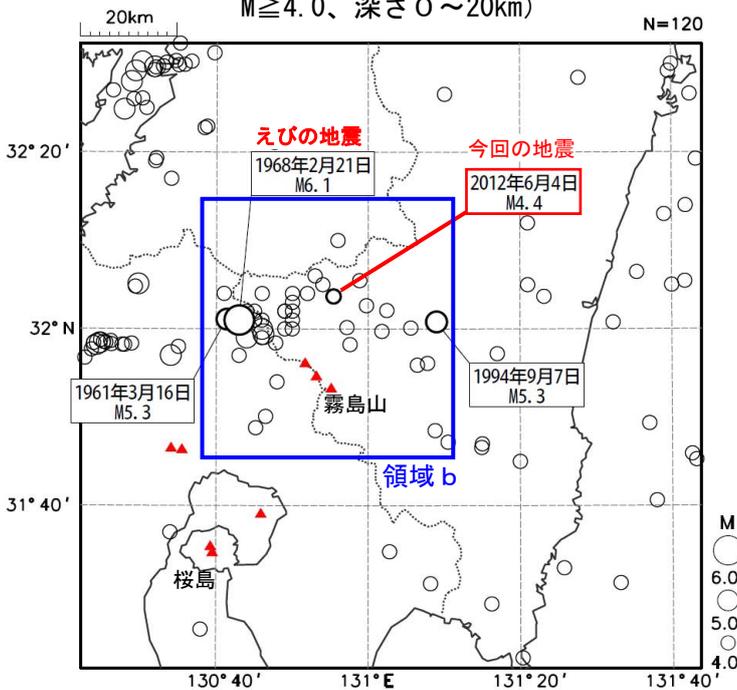


1923年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生している。そのうち1968年2月21日に発生したM6.1の地震(えびの地震、最大震度5)では、死者3人、住家全壊368棟などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



震央分布図 (1923年1月1日~2012年6月6日、
M \geq 4.0、深さ0~20km)

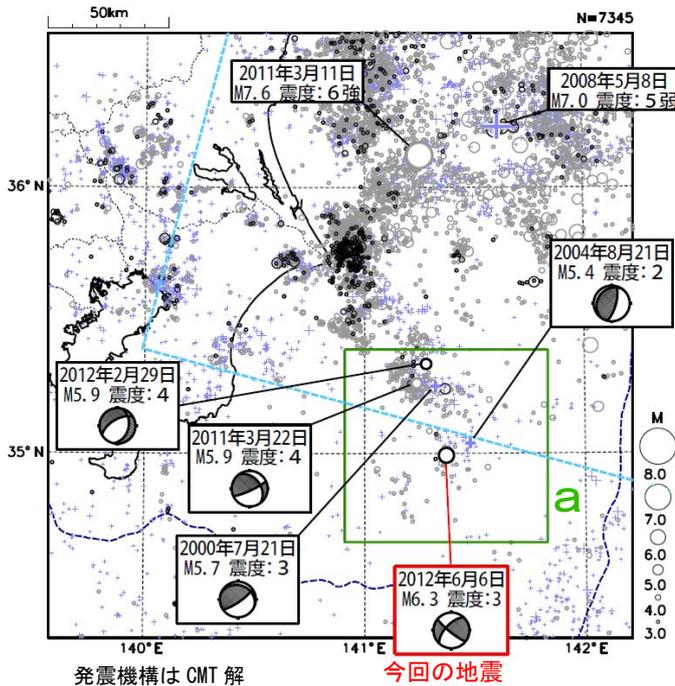


6月6日 千葉県東方沖の地震

震央分布図※

(1997年10月1日～2012年6月6日、深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○(薄)、2012年1月以降に発生した地震を○(濃)で表示



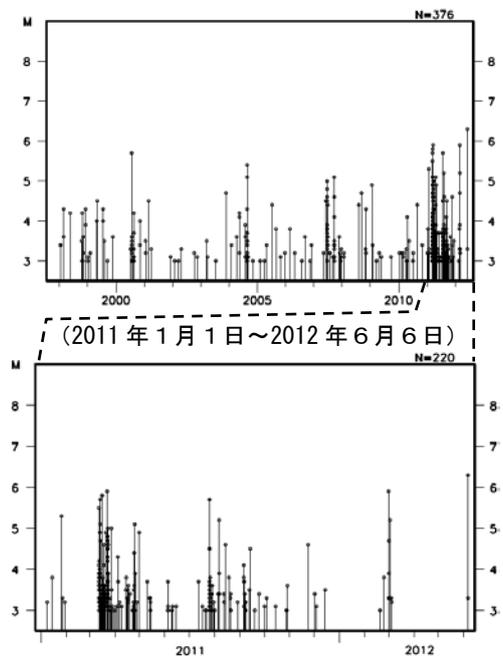
発震機構は CMT 解
 --- 東北地方太平洋沖地震の余震域

※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2012年6月6日04時31分に千葉県東方沖でM6.3の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

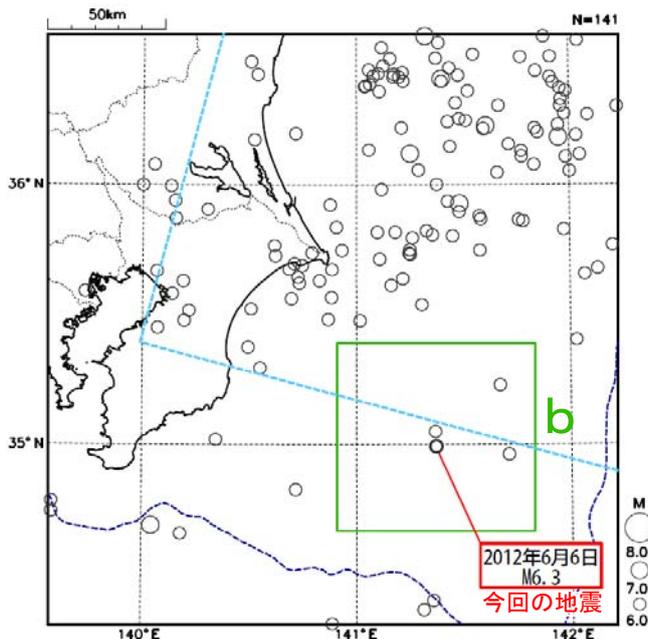
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の地震は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震域の外側で発生したが、今回の地震の震央付近でも「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動の活発化が見られる。

領域a内のM-T図※



震央分布図

(1923年1月1日～2012年6月6日、深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が今回の地震も含めて4回発生している。

領域b内のM-T図

